

令和6年度市政執行方針【関係部分のみ抜粋】

はじめに

ただいま上程されました、令和6年度予算案及びこれに関する諸案件をご審議願うに当たり、私の市政に対する基本的な考えと予算の大綱についてご説明申し上げます。

まず、このたびの令和6年能登半島地震におきまして、犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。

当市といたしましても、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、職員派遣など、できる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

さて、多くの皆様からのご信任をいただき、私が市長に就任してから9か月が過ぎました。

今日まで、少人数で対話する「未来づくり懇談会」のほか、自治会、市民活動団体、経済団体などを通じて、江別にお住まいの方、仕事や学業で江別市内に通われている方など、様々な市民の皆様と意見交換をさせていただいたところです。

私自身、江別に長年住む者として「江別をもっと良いまちにしたい」との思いを持ち続けてまいりました。これまでの意見交換では、まちづくりへの想いをひしひしと感じ、改めて、自治の主役は市民一人ひとりであることを実感しております。

これからも、江別市自治基本条例の精神でもあります協働の理念に基づき、市民の皆様との対話を積極的に行いながら、江別のまちづくりを進めてまいりたいと決意を新たにしているところであります。

昨今の当市を取り巻く環境に目を向けますと、長期にわたって猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ5類となり、かつての日常を取り戻しつつある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラム組織ハマスとイスラエル軍との衝突の影響などに伴う原油価格と物価の高騰が続いており、市民生活等に大きな影響を与えています。

また、総務省の住民基本台帳人口移動報告によりますと、1年間の当市における年少人口の転入超過数は、全国の市町村の中で6年連続して20位以内、全年齢区分を合わせた転入超過数も全道で3位という喜ばしい結果となりましたが、市の人口推計では、今後は全体の人口が減少していく中で、老年人口が令和17年頃まで増加し、年少人口と生産年齢人口は減少し続けることから、ますます少子高齢化が進むことが想定されます。

このように、当市を取り巻く環境や社会情勢は、不安定で不確実性を増しており、今後の行財政運営は一段と厳しさを増すことが予想されます。将来にわたり、まちの活力を維持するためには、常に変化する社会情勢に柔軟かつ大胆に対応しながら、様々な困難を乗り越え、新しい時代に挑戦していかなければなりません。

こうした変化などに対応し、新しい時代に挑戦するための道標として、このたび、まちづくりの最上位計画となる「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」を策定いたしました。

計画の策定に当たりましては、市民5,000人を対象とした「まちづくり市民アンケート調査」のほか、中学・高校・大学生をはじめ、子育て中の方や地域で活躍される方など30のグループに、市の若手職員も加わり、延べ160人の市民の皆様から直接意見を伺う「えべつの未来づくりミーティング」を開催し、まちの課題や未来について意見を交わすなど、市民参加と協働による計画づくりを進めてまいりました。

これらの取組を通じて得られた意見を踏まえて作成した計画案は、学識経験者や各関係団体の代表者、市民委員で構成される行政審議会においてご審議いただいたほか、市民説明会やパブリックコメントを経て、本計画の基本的な構想部分については、今年の第4回市議会定例会において議決いただいたところであります。

新しい総合計画においては、社会情勢が変化する中であっても、住みやすく、魅力的なまちであり続け、持続可能なまちづくりを進めるために、国際社会全体の開発目標であるSDGsの達成を意識し、**まちづくりの基本理念**として、

- ・いつまでも元気なまち
- ・みんなで支え合う安心なまち
- ・**子どもの笑顔があふれるまち**
- ・自然とともに生きるまち
- ・新しい時代に挑戦するまち

の5つを掲げるとともに、将来都市像を

「幸せが未来へつづくまち えべつ」

として、これからの10年間のまちづくりを進めていくことといたしました。

さらには、この将来都市像の実現に向け、江別市の特色や優れた点を活かして、まちの魅力を高めながら、様々な課題の解決を図るため、計画の前期5年間で重点的・集中的に取り組んでいく「**えべつ未来戦略**」として、

- ・**子どもが主役のまちをつくる**
- ・幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける
- ・みんなの働きがいと、元気な経済をつくる
- ・地域から地球温暖化防止に挑む
- ・デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

の5つのテーマを掲げることといたしました。

さらに、全ての戦略の基盤に「協働」を据えるとともに、「情報発信、ICT化」を「推進機能」としたところであります。

これらの実現のためには、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政をはじめ、多様な主体が、それぞれの役割分担の下、得意分野や知識・経験などを活かしながら、協働の考え方にに基づき、まちづくりの取組を実践していく必要があります。

私は、この新しい総合計画「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」のスタートに当たり、まちづくりの基本理念の実現とえべつ未来戦略の推進に向け、全力で取り組んでまいります。

総合計画に掲げる5つの基本理念

ここで、総合計画に掲げる5つの基本理念についてご説明申し上げます。

子どもの笑顔があふれるまち

3点目は、子どもの笑顔があふれるまちであります。

未来の江別を担う子どもたちは、江別の宝であります。

子どもたちがいつも笑顔でいられ、そして、健やかに成長することができるまちを目指します。

本格的な少子高齢・人口減少社会を迎える中、当市の人口は、子育て世代や年少人口の転入によって支えられてきました。子育て世代から住みよいまちとして選ばれ続けるためにも、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えるとともに、子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学べる環境づくりに取り組みます。

えべつ未来戦略

次に、これらの基本理念を実現するため、今後5年間で、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」について、戦略テーマごとに申し上げます。

戦略1 子どもが主役のまちをつくる

はじめに、戦略1「子どもが主役のまちをつくる」についてであります。

冒頭に申し上げましたとおり、1年間の年少人口の転入超過数は、6年連続で全国20位以内となるなど、多くの子育て世帯に選ばれてまいりました。

子どもの数が減少傾向にある中、子育て世帯から住みよいまちとして、これからも選ばれ続けるためには、誰もが安心して子育てができる環境づくりを進めていく必要があります。

そこで、子育てに関する保護者の不安や負担の軽減を図るために、子育て支援センターによる情報発信や相談体制を充実させるとともに、昨年リニューアルした子育てひろば「ぼこあぼこ」の運営などを通じて、親子が集える交流や遊びの場を提供するなど、包括的に子育て家庭を支援する環境づくりを進めます。

また、未就学期の多様な子育てニーズに対応するため、奨学金の返還支援などを通じて、引き続き、市内の保育施設で働く保育士等の確保に努めるほか、新たな放課後児童クラブの開設や、夏の暑さ対策として、小中学校等にエアコンを設置するなどの環境整備を行うことで、未就学期から学齢児童まで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めます。

さらに、変化の激しい社会の中にあっても、子どもたちが将来の夢や目標を持ち、他者を尊重しながら生きていく力を身に付けるため、引き続き、小中一貫教育の推進を図るほか、いじめ・不登校などの様々な課題の解決に向けた取組など、教育相談や支援の更なる充実により、子ども一人ひとりが、個性や状況に応じた教育を受けることができる環境づくりに取り組んでまいります。

終わりに

終わりに、令和6年度予算は、新しい総合計画の下での初めての予算であり、私が市長に就任して初めて編成した当初予算でもあります。

冒頭に申し上げましたとおり、就任から今日まで多くの市民の皆様と意見交換をさせていただく中で、たくさんの人々の真剣な「まなざし」と「笑顔」に触れることができました。そのたびに、この「笑顔」をこれからも守り抜くことが、市長である私の使命なのだと決意を新たにしていまいりました。

今年は、江別市にとって市制施行70周年の節目を迎えます。

今、私たちが笑顔でいられるのは、先人の優れた英知とたゆまぬ努力のおかげであります。

これからの10年、またその先の10年と、未来は必ずやってきます。

幸せが、いつまでも続くためには、社会情勢の変化や、経験したことのない困難に直面したとしても、未来の江別を担う今の子どもたちが笑顔でいることができる社会を、創造し続けていくことが大切です。

そこで、新しい総合計画のスタートに合わせ、子どもたち一人ひとりが尊重され、健やかな成長が保障されるまちをつくるため「子どもが主役のまち・江別市」の宣言に向けた準備を進めます。

子どもたちの笑顔を大切にすることは、子育て世代の幸せにつながり、子育て世代の幸せを大切にすることは、その親の世代の幸せにつながります。

そして、今の子どもたちは、やがて大人になり、未来の子どもたちの笑顔を大切にします。この繰り返しこそが「幸せが未来へつづくまち」なのだと、私は信じて疑いません。

「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」の下で、市民の皆様と手を取り合いながら、これからも「江別市に住んで良かった」、「このまちにずっと住み続けたい」と思っただけのよう、一步一步、着実にまちづくりの歩みを進めてまいります。

市民の皆様並びに議員各位の特段のご理解とご協力をお願い申し上げ、令和6年度の市政執行方針並びに各会計予算案の説明とさせていただきます。